【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和6年7月5日(2024.7.5)

【国際公開番号】WO2023/074155
【出願番号】特願2023-556178(P2023-556178)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｃ 17/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｃ 17/02 Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月15日(2024.4.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
ここで、支持環３を軸受箱４によって安定的に支持するためには、上述した支持面４１ｓの面積が肝要となる。特に、回転軸１による径方向荷重は、軸受箱４に対して、軸線Ｏと下側キー２６の両側の周方向端部とを結ぶ直線の延長線ｓ２，ｓ３で囲まれた範囲に作用する。したがって、これら範囲に何ら荷重を支持するための部材が設けられていない場合には、軸受箱４が支持環３を剛な状態で支持することができずに、支持環３が変形する虞がある。その結果、回転軸１を安定的に支持することが難しくなってしまう。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
また、回転軸１による径方向荷重は、下側キー２６を介して軸受箱４に伝わる。したがって、周方向における下側キー２６の延在範囲で、当該径方向荷重を支持する必要がある。上記構成によれば、軸線Ｏと下側キー２６の内側の周方向端部を結ぶ直線の延長線ｓ２上に支持面４１ｓが延在していることから、この径方向荷重をさらに安定的に支持することができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
（１）第１の態様に係る軸受装置１００は、水平方向に延びる軸線Ｏ回りに回転可能な回転軸１を支持する軸受装置１００であって、前記回転軸１を支持する軸受本体２と、前記軸受本体２を外周側から覆う支持環本体３１、及び該支持環本体３１と一体に設けられるとともに下方を向く底面３２ｂを有する台座部３２を有する支持環３と、前記支持環３と別体に設けられ、前記底面３２ｂに当接する支持面４１ｓを有する軸受箱４と、を備え、前記軸受本体２は、前記回転軸１を外周側から覆うリング部２１と、該リング部２１の内周面によって直接的又は間接的に支持され、前記回転軸１の外周面に摺接する下側パッド２４と、を有し、前記軸線Ｏ方向から見て、前記支持面４１ｓは、少なくとも前記軸線Ｏ

と前記下側パッド２４の周方向における中心とを結ぶ直線の延長線ｓ１上に延在している。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４９】
上記構成によれば、上側パッド２５が、下側パッド２４と軸線Ｏとを結ぶ直線の延長線ｓ１上に位置している。つまり、上側パッド２５は、下側パッド２４に対して軸線Ｏを基準として点対称に配置されている。これにより、回転軸１が下側パッド２４に及ぼした力の反力を上側パッド２５によって安定的に支持することができる。